

## 確認事項

### 『労働社会学研究』発行の目的、性格等について

- (1)実証研究(実態調査)の活性化を目的とし、特に若手研究者からの積極的な投稿を推奨するが、全会員からの投稿を歓迎する。
- (2)原稿の水準は『年報』と同等のものとする。
- (3)掲載する論文・研究ノートのどちらも「実態調査にもとづく実証研究」とする。単なる文献研究は掲載の対象外とする。「実態調査にもとづく実証研究」の範囲には、聞き取り調査、アンケート調査、参与観察法調査などの他、第1次資料(文書資料)にもとづく研究を含む。
- (4)論文と研究ノートの区別は、研究論文としての完成度の違いとし、編集委員会が判断する。

(2015年3月7日 幹事会確認)